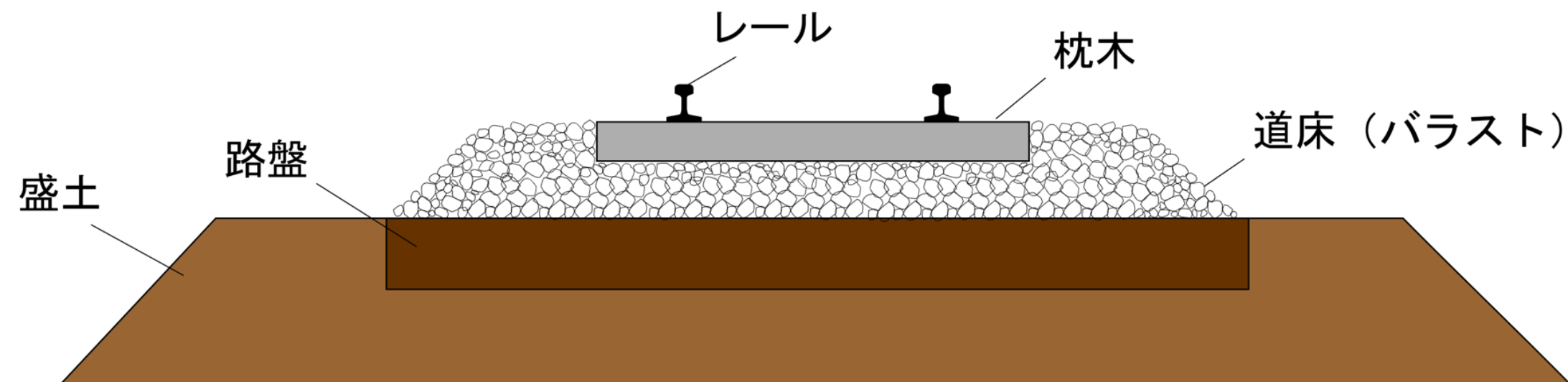


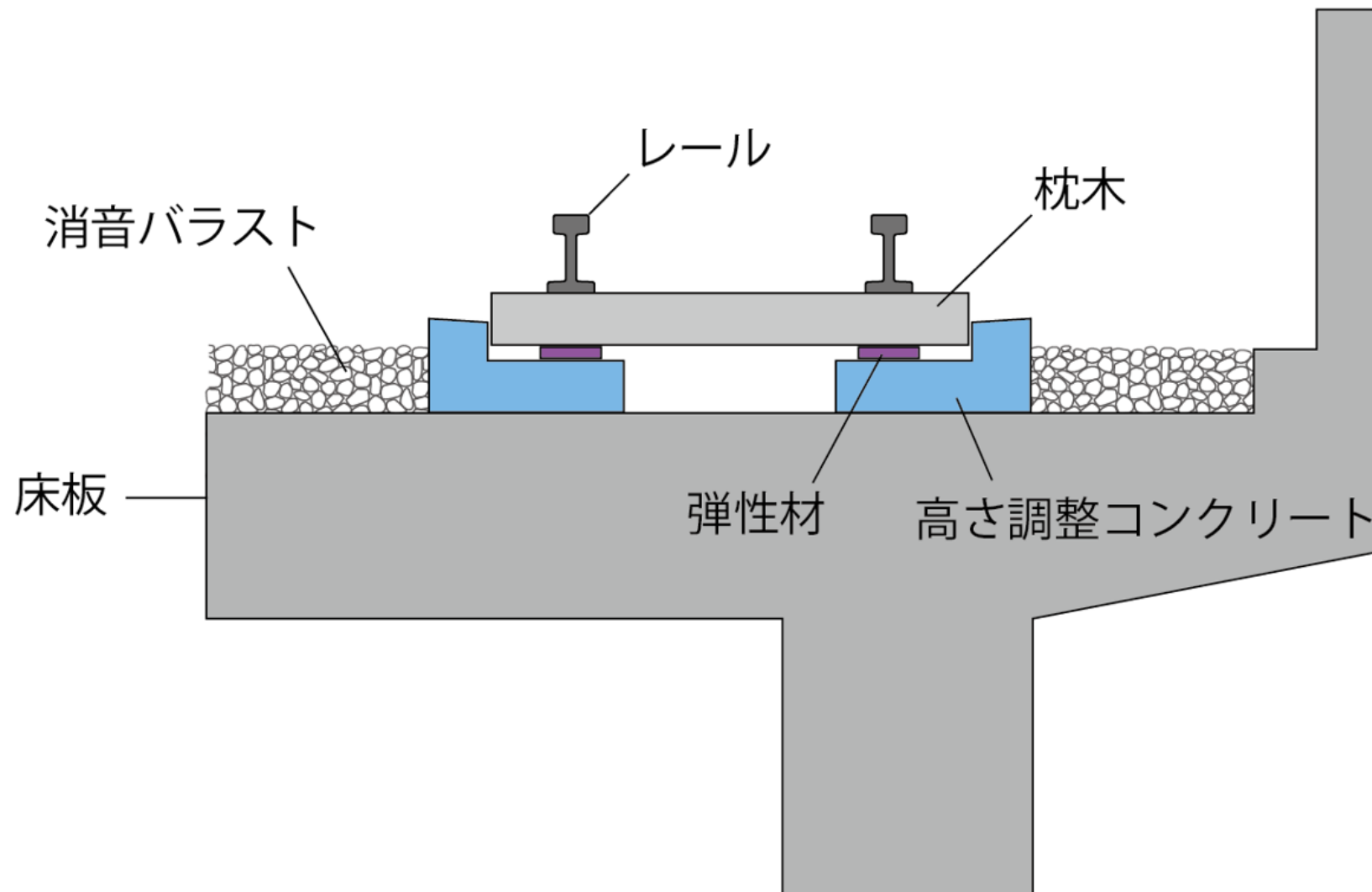
工事の施行中

【バラスト軌道】



工事の完了後

【弾性バラスト軌道】

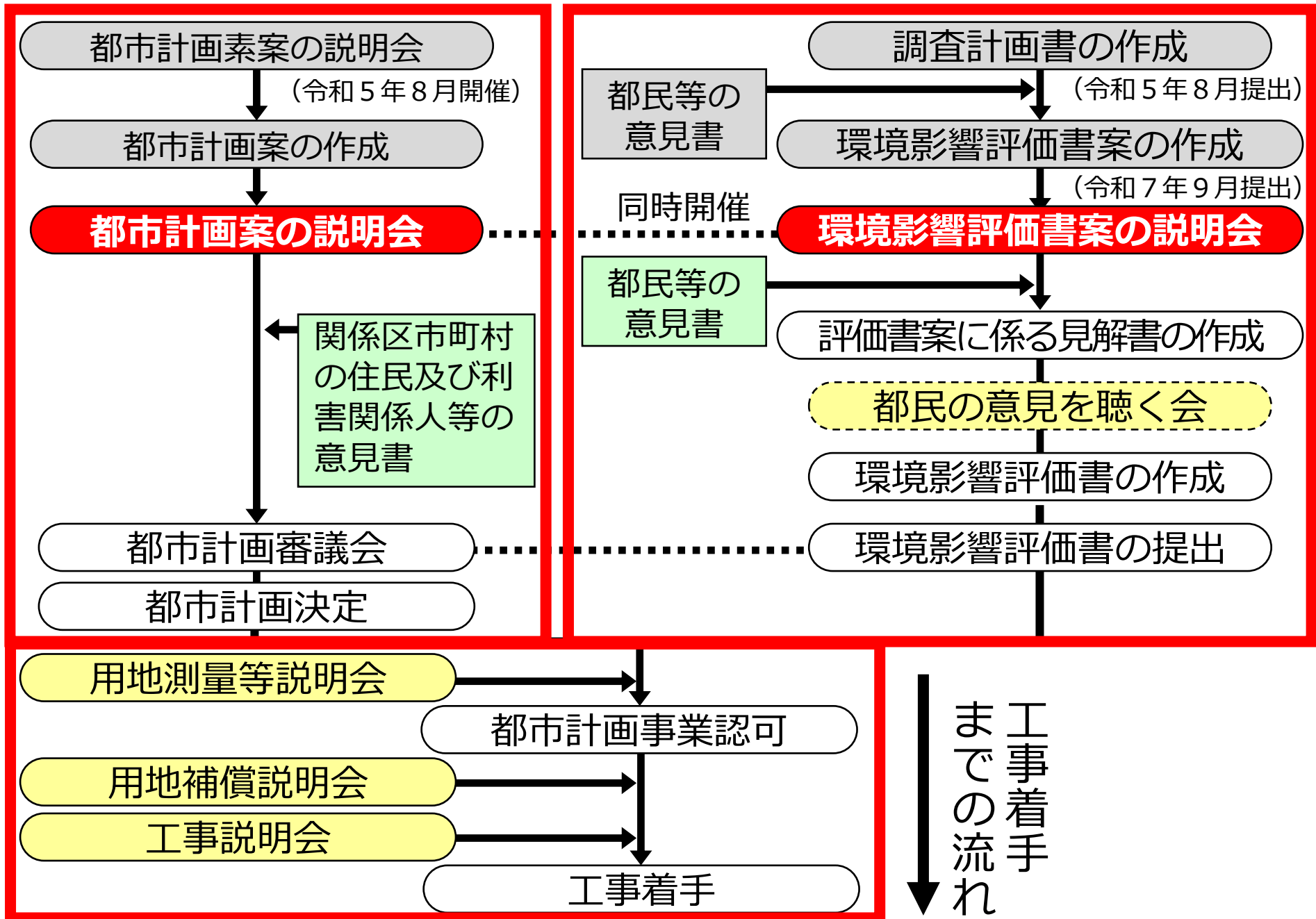


今後の手続の流れ

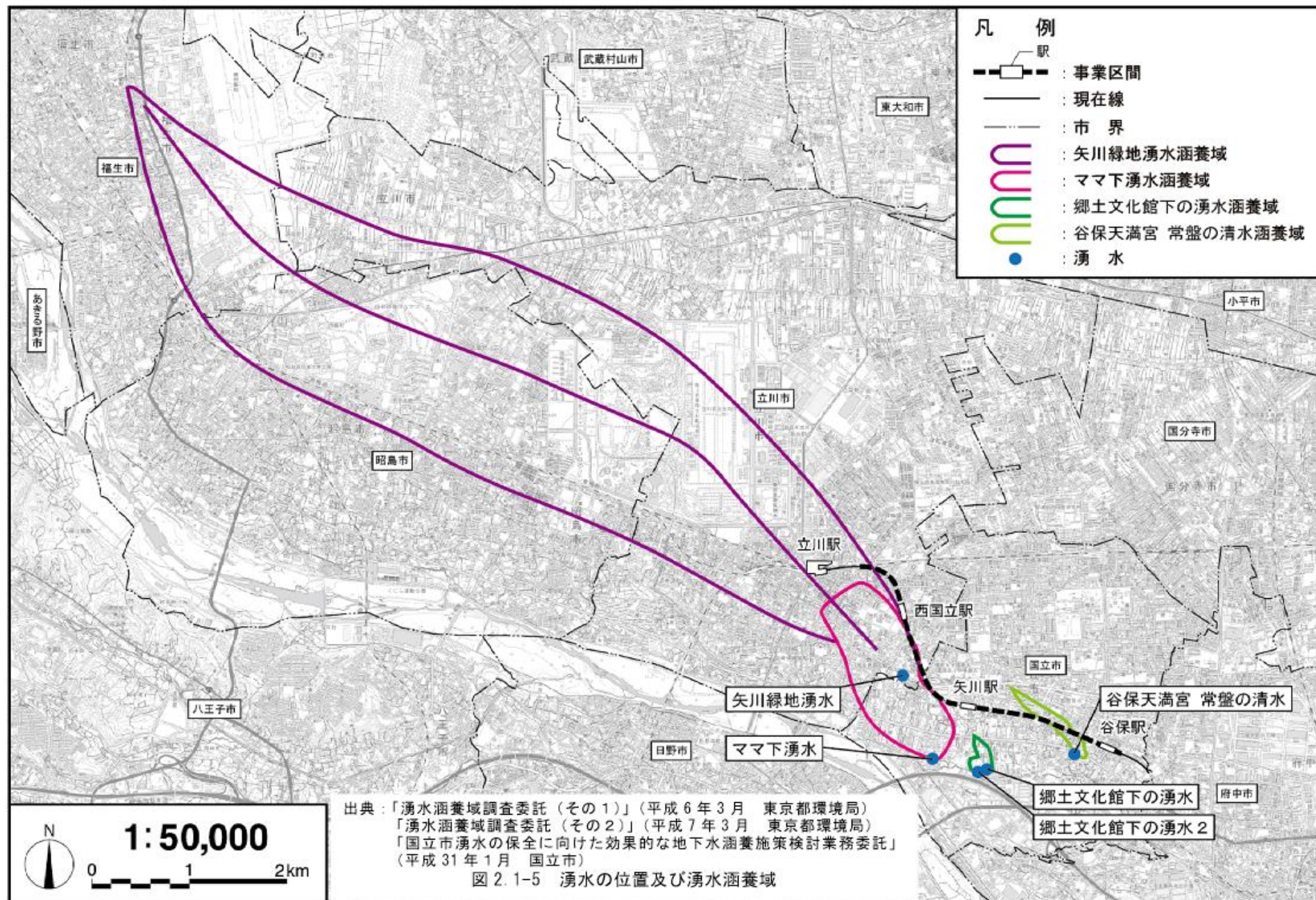
(連続立体交差化計画等)

都市計画手続の流れ

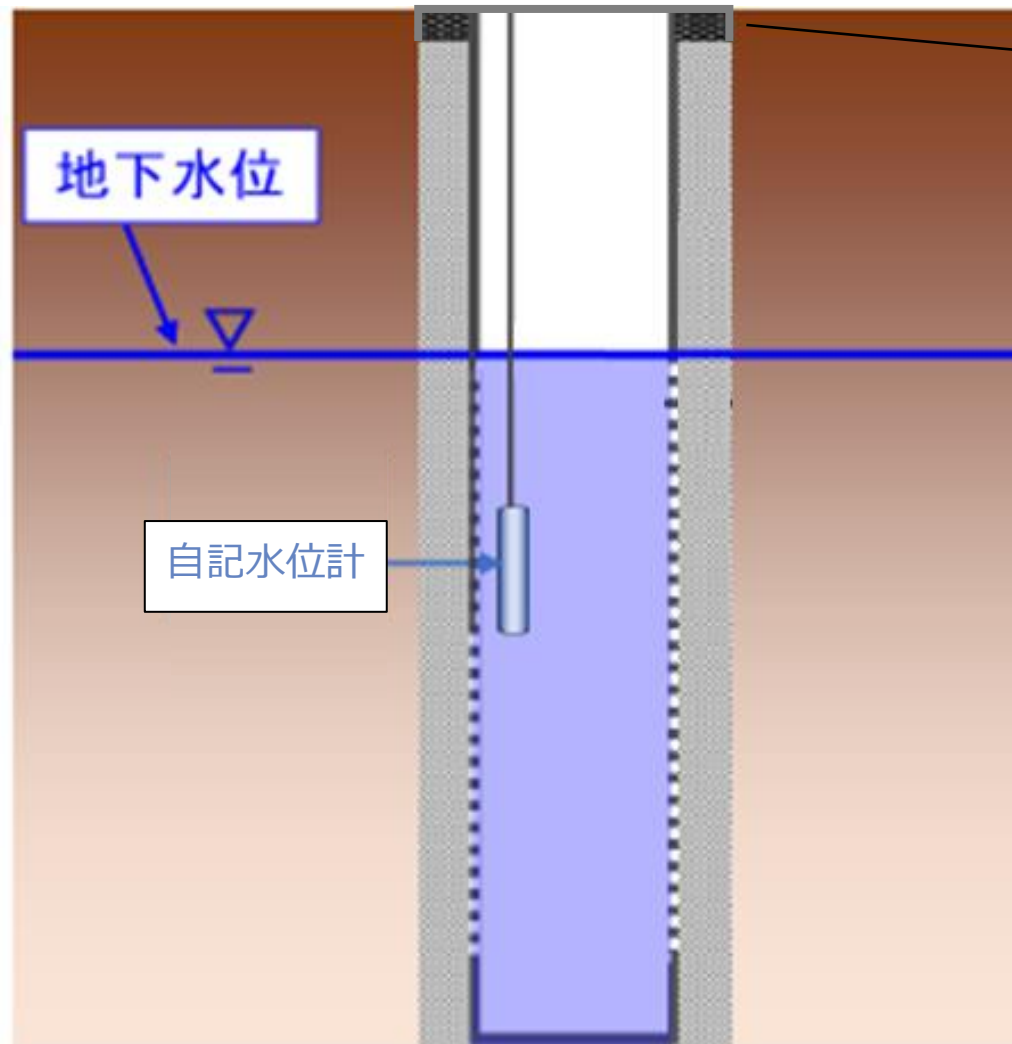
環境影響評価手続の流れ



湧水の位置及び湧水涵養域



観測井の構造等



＜観測井イメージ＞



説明会のお知らせ（抜粋）

都市計画案及び環境影響評価書案の 説明会のお知らせ

東日本旅客鉄道南武線
（谷保駅～立川駅間）の連続立体交差化計画
及び関連する道路計画等について

東国立
京立川
都市市社
東日本旅客鉄道株式会社

皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
このたび、東日本旅客鉄道南武線（谷保駅～立川駅間）の連続立体交差化計画及び関連する道路計画等の都市計画案及び環境影響評価書案を作成いたしました。
つきましては、その内容を皆様にご説明するため、下記のとおり説明会を開催しますので、お知らせいたします。本説明会は、西国立駅西地区計画の都市計画変更原案の説明を含みます。
なお、「国立都市計画道路3・3・15号中新田立川線（国立市谷保～富士見台四丁目）」及び「国立都市計画道路3・4・5号立川青梅線（国立市富士見台四丁目～青柳一丁目）」の都市計画案及び環境影響評価書案の説明会は、別途開催されますので、お間違のないようご注意ください。

位置図



説明会の日時および会場

	日 時	会 場	定 員
①	令和7年10月8日（水） 午後6時30分～8時30分（開場 午後6時00分）	FSX ホール（くにたち市民芸術ホール） （国立市富士見台2丁目4番1号）	約300人
②	令和7年10月11日（土） 午後2時00分～4時00分（開場 午後1時30分）	立川市立第三小学校 体育館 （立川市錦町3丁目4番1号）	約240人
③	令和7年10月13日（月） 午後2時00分～4時00分（開場 午後1時30分）	FSX ホール（くにたち市民芸術ホール） （国立市富士見台2丁目4番1号）	約300人
④	令和7年10月15日（水） 午後6時30分～8時30分（開場 午後6時00分）	たましん RISURUホール（立川市民会館）小ホール （立川市錦町3丁目3番20号）	約180人

※②、④の説明会会場には駐車場がありませんので、来場の際は、公共交通機関をご利用ください。
※4日間とも説明内容は同じです。多くの皆様にご参加いただくために、複数回のご参加はご遠慮ください。
（当日説明に使用する資料はインターネットで公開いたします。）
※開場時間より前にお越しいただいても、準備等の関係から会場に入場することはできません。

環境影響評価書案のあらまし

東日本旅客鉄道南武線（谷保駅～立川駅間）の連続立体交差事業の実施に伴い、周辺環境に及ぼす影響について、東京都環境影響評価条例に基づき、予測・評価を行いました。その概要は、以下のとおりです。

予測・評価項目	予測・評価の概要
騒音・振動	【建設機械の稼働に伴う建設作業騒音・振動】※1 建設作業騒音の予測値は67dB～80dB、建設作業振動の予測値は、47dB～70dBであり、「騒音規制法」又は「都民の健康と安全を確保する環境に関する条例」で定める基準値と同等又は下回ります。 【仮線時の鉄道騒音】※2 仮線区間の鉄道騒音の予測値（等価騒音レベル）は、昼間53dB～56dB及び夜間48dB～51dBであり、現況値を下回ります。 【仮線時の鉄道振動】※3 仮線区間の鉄道振動の予測値は、60dB～74dBであり、現況値を上回りますが、環境保全のための措置を適切に実施し、鉄道振動の低減に努めます。
	【鉄道騒音】※2 列車の走行に伴う鉄道騒音の予測値（等価騒音レベル）は、昼間49dB～53dB及び夜間44dB～49dBであり、現況値を下回ります。 【鉄道振動】※3 列車の走行に伴う鉄道振動の予測値は、42dB～52dBであり、おおむね現況値と同等又は下回ります。
日 影	工事の完了後において、鉄道施設の構造及び高さに配慮し、「建築基準法」及び「東京都日影による中高層建築物の高さの制限に関する条例」の規制時間を超える日影は生じません。
電波障害	テレビ電波の受信障害は、地上デジタル放送については、事業区間において、東京スカイツリー広域局では最大約40m、東京スカイツリーM Xテレビでは最大約160m、永山中継局で最大約270mまでの範囲で、影響が生じると予測され、また、衛星放送については、事業区間において、北東方向に最大約20mまでの範囲で影響が生じると予測されます。 このため、本事業による障害が明らかになった場合には、アンテナ設置位置の調整やケーブルテレビによる受信対策等の環境保全のための措置を実施します。

※1 建設作業騒音の予測位置は、敷地境界の地上からの高さが1.2mの地点、建設作業振動の予測位置は、敷地境界の地盤面
※2 鉄道騒音の予測位置は、原則として計画線最寄り軌道中心から水平方向に12.5m、地上からの高さが1.2mの地点
※3 鉄道振動の予測位置は、原則として計画線最寄り軌道中心から水平方向に12.5mの地盤面

パンフレット及びスライド（抜粋）

【パンフレット】

電波障害

●予測・評価の結果

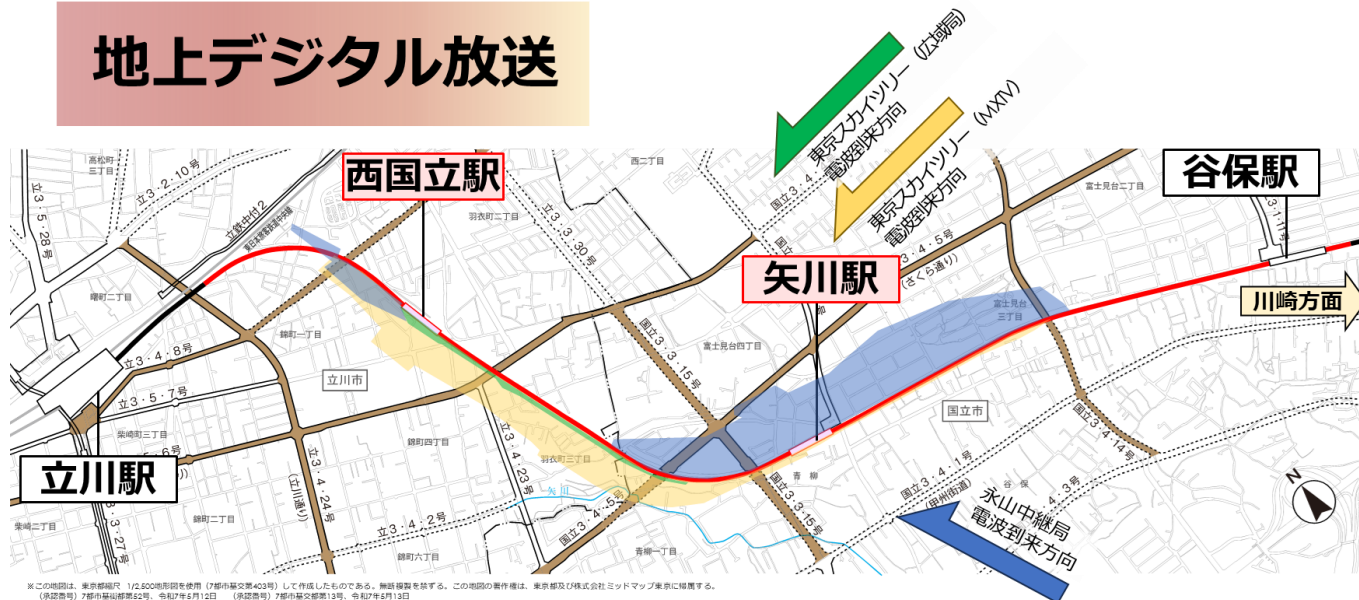
テレビ電波の受信障害は、地上デジタル放送については、事業区間において、東京スカイツリー広域局では最大約40m、東京スカイツリーMXテレビでは最大約160m、永山中継局で最大約270mまでの範囲で、影響が生じると予測され、また、衛星放送については、事業区間において、北東方向に最大約20mまでの範囲で影響が生じると予測されます。

●環境保全のための措置

本事業による障害が明らかになった場合には、アンテナ設置位置の調整やケーブルテレビによる受信対策等を実施します。

【説明スライド】

地上デジタル放送



- ： 遮蔽障害予測範囲 東京スカイツリー（広域局）
- ： 遮蔽障害予測範囲 東京スカイツリー（MXTV）
- ： 遮蔽障害予測範囲 永山中継局

環境保全のための措置（景観）

8.4.3 環境保全のための措置

(1) 予測に反映した措置

- ・ 鉄道施設の構造及び高さに配慮する。
- ・ 踏切を除却することにより、人及び車の滞留を解消させる。

(2) 予測に反映しなかった措置

- ・ 高架橋及び駅舎の外壁については、周辺環境や地域景観と調和するようデザイン、色彩等に配慮するとともに、駅舎の形状や意匠等は、地域の景観づくりに寄与するよう配慮する。

- ・ 高架橋については、圧迫感を和らげるよう梁に丸みをつける等、今後、詳細な検討を行い、景観に配慮する。

保守基地現況

